

8. Embassy of the Philippines Case newspaper article - summary - translation

According to the morning edition dated February 20, 2015, such as the Yomiuri Shimbun, diplomats and officials of the Philippine Embassy reported criminal dispositions in violation of Immigration Control Act, it reported to the society as much as possible.

The content of the article stipulates that the driver of the Embassy of the Philippine Embassy falsely tries to hire his Philippines as a domestic employee, hands out a false employment contract to the Filipino, the Filipinos apply for immigration, Specific Activity "but did not work as a domestic employee and he worked in a landscaping company in Tokyo, it was decided that three people were charged for violating the Immigration Act (activities outside the status of qualification) and the embassy staff's operation Arrested and indicted his hands in June 2014 with criminal law "assistance crime" of violation of immigration law (activity outside the status of qualification).

In the trial it was sentenced to imprisonment with suspended sentence, and it was forcibly repatriated.

Based on the story of two of those who received a further conviction, apart from the driver, the status of residence based on documents such as employment contracts tied by the names of three men and women of diplomats and embassy officials Kanagawa Prefectural Police, in consultation with the National Police Agency, the Public Prosecutor's Office and the Ministry of Foreign Affairs, said that they need to be informed of the circumstances of the contract and the actual conditions of work, etc., through the Ministry of Foreign Affairs of the Embassy He asked for an interview, but since he answered that he returned home, he decided that the possibility of helping illegal work was higher and assisted three diplomats, who returned home shortly after offering, aided violation of the Immigration Bureau of the 6th this month I sent a document on charges.

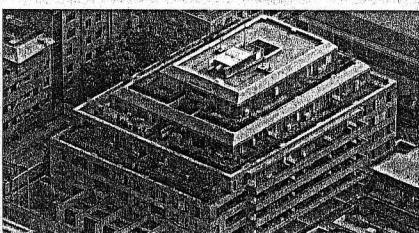
2015年2月15日 朝刊

粘着テープ指紋酷似の男

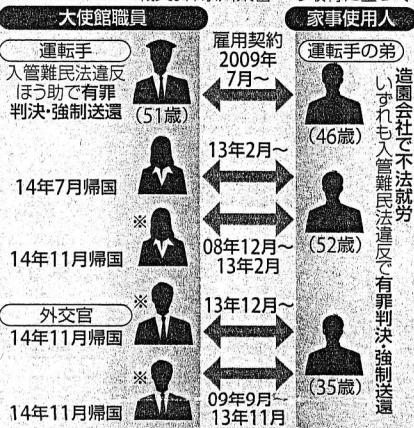


スーパー「ナン
べる捜査員(栗
1995年撮影)

大使館員使用人が不法就労



▼不法就労事件の構図 ※印は書類送検された職員。神奈川県警への取材に基づく



「家事使用人」による不法就労が発覚した
在日フィリピン大使館（本社ヘリから）

浜を昌して通て警交

在日フィリピン大使館（東京・六本木）回りに「家事使用人」として雇われる人の男4人が、大使館と無関係の会社に就労を手助けしたりしていたところ、違反（資格外活動）などの疑いで神奈川県警有罪判決を受けていたことが分かった。

外交官ら3人書類送検

外交官ら3人書類送検
不法就労していたのは外
貿易の知人や家族で、県
は、勤務実態などについ
て話を聞くため、外務省を
じて大使館に面会を要請
したが、外交官らは帰国。
警は6日外交官ら3人
同法違反ほう助容疑で横
地檢に書類送検した。
外交官や大使館職員が曰
は、資格外活動（不法就労）

外交官 各国から派
たる、トップとなる大
使やその家族らには、任務
資格が与えられ、在留期
間も受け入れ特權が保
障されている。このほ
うの大使館職員にも、同様

れる外交使節団のうち、外交関連の任務を除く「外交」の在留制限はない。外交官や安全確保のため、などがウイーン条約で特定業務に就く一部の権利が与えられる。

都内の造園会社で

ほう助含め比人4人有罪

群馬県警は18日、沢川署地域課巡回の秋山暢^(よし)大尉と者(24)群馬県渋川市金井^(くにい)を未成年者誘拐未遂容疑で逮捕した。

た。秋山容疑者は「かわいいかったので仲良くなりたかった」と供述しているという。事件当日は休みで私服だった。

警官が女兒誘拐未遂容疑

製談合防止法違反と公契約
関係競売入札妨害の両容疑
で逮捕した。

月、読売新聞の取材に対し、
フーリビン外務省の報道官によ
り、後には「問題を大変深刻に認
識する」とは止めており、今回の件
に関わった職員は、調査のためマニ
ラ二度に還らせた。調査は進展して
いるが、閣僚は予断を許さないよ

説明。大使館は「コメントする」とはないとしている。

あしたを、つなぐ——野村不動産グループ

野村不動産ホールディングス
野村不動産
野村不動産投資顧問
野村不動産アーバンネット
野村不動産パートナーズ
NREG東芝不動産
横浜ビジネスパーク熱供給
ジオ・アカマツ
野村不動産リフォーム
ブライムクロス
メガロス

野村不動産グループ

た。秋山容疑者は「かわいいかったので仲良くなりたかった」と供述しているという。事件当日は休みで私服だった。

工事会社 菅谷電気工業】
川原町)、同社営業部長 岩好章(57)(同市大利根町)
の両容疑者も同容疑で逮捕した。
発表によると、発塚容疑者は2013年5月頃、
川市の北部学校給食共同調理場の電気工事を巡り、非
公開の最低限価格を菅谷に
容疑者に教え、公正な入れ
を妨害した疑い。同社は同
価格より2000円高い1
億3850万3000円で

函館水産高実習生
ハワイ沖で不明
【ロサンゼルス＝加藤賢治】米沿岸警備隊は17日、ハワイ・カウアイ島沖で、日本の海洋実習船に乗っていた日本人の男子生徒が海上に漂流していると発表した。実習船は北海道北斗市の函館水産高の「北鳳丸」で、同校も情報収集を進めている。同隊によると、男子生徒たる